

令和元年度決算に係る

定期監査資料

令和2年9月

交流人口拡大本部東京本部

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1頁
3	職員の定員、現員調べ	1頁
4	役付職員の調べ	1頁
5	主な事業に関する調べ	2頁
6	決算資料（総括表）	10頁
7	事業別実施状況調べ	10頁
8	予備費の充用調べ	10頁
9	繰越関係調べ	10頁
10	収入証紙取扱額調べ	10頁
11	現金の取扱状況	10頁
12	財産に関する調べ	10頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
13	財産の貸付け及び使用許可調べ	11頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの）	
14	借受不動産明細調べ	12頁
15	職員駐車場の管理状況調べ	12頁
16	寄附物件の受納状況調べ	12頁
17	備品の処分状況調べ	12頁
18	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	12頁
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
19	貸付金等状況調べ	12頁
20	企業誘致の状況	13頁
	(1) 企業誘致の条件、目標等	
	(2) 企業訪問	
	(3) 企業の要望、課題等	
	(4) その他	
21	県内物産の展示、宣伝、紹介の状況	14頁
	(1) イベントでのPR	
	(2) マスメディアを活用した情報発信	
	(3) アンテナショップのPR	
22	観光宣伝の状況	18頁
	(1) 首都圏でのPR実績	
	(2) マスメディアを活用した情報発信	
	(3) 旅行会社への情報提供	
	(4) 観光相談と紹介等	
23	移住定住・就業支援の状況	20頁
	(1) 移住定住・就業支援に係る取組	
	(2) 首都圏の大学等との連携	
24	県外本部・代表部庁舎に入居している団体等の調べ	21頁
○	意見、要望等	21頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

- (1) 指摘事項 該当なし
- (2) 監査意見 該当なし
- (3) 決算審査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況

該当なし

3 職員の定員、現員調べ

(令和2年9月1日現在)

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	当該 年度	31.4.1 現 在	当該 年度	31.4.1 現 在	当該 年度	31.4.1 現 在	当該 年度	31.4.1 現 在	
定員	15	15	0	0	0	0	15	15	
現員	(13) 25	(10) 23	(0) 2	(0) 2	(0) 0	(0) 0	(13) 27	(10) 25	育児休業1 休職中2 (自己啓発1、病気1) 派遣10 ・内閣官房1 ・内閣府1 ・外務省1 ・中小企業庁1 ・文化庁1 ・総務省1 ・日本財団1 ・自治体国際化協会2 ・地域活性化センター1
過不足 (△)	△3	△2	2	2	0	0	△1	0	育児休業中1名の代替 が欠員
臨時 職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤 職員	8	8	0	0	0	0	8	8	一般事務4 販路開拓マネージャー1 企業誘致担当参与1 技術コーディネーター2

4 役付職員の調べ

(令和2年9月1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間		備 考
		年	月	
本部長	谷長 正彦	1	5	通算2年5月
副本部長兼拉致被害者対策調整室長	高務 裕子	1	5	出納員
販路開拓担当参事	山本 直生	0	5	
主幹	田中 純一	1	5	
主幹	高橋 和也	3	5	
主幹	河上 一雄	0	5	
主幹	土井 直人	2	5	

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
首都圏における移住定住・就業支援の取組	992			992
鳥取元気プロジェクト	—			
元気づくり総合戦略	—			
<p>(概要)</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <p>本県へのI J Uターン就職や移住定住について、県立鳥取ハローワーク、雇用政策課、ふるさと人口政策課、(公財)ふるさと鳥取県定住機構と連携しながら、相談対応や紹介・調整、情報発信を行い、首都圏からの移住定住者の増加や、県内企業が必要としている人材の確保を図る。</p> <p>また、本県からの進学者が多い大学を中心に、大学や学生等との連携事業を実施し、首都圏の大学に在学する学生の本県へのI J Uターン就職・移住定住の促進を図る。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>a 鳥取県立東京ハローワークの移転・運営等</p> <ul style="list-style-type: none"> 「鳥取県立東京ハローワーク」を4月26日、鳥取県東京本部執務室から、港区新橋の共同アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」の2階に移転し、岡山県と共同で「移住・しごと相談コーナー」として年末年始を除く年中無休での運営を行った。(全国初の取組) 県立東京ハローワークと一緒に「移住・しごと相談コーナー」に移転した(公財)ふるさと鳥取県定住機構との連携により、就業相談と移住相談にワンストップで対応した。 求職者への相談対応や県内企業とのマッチングを実施したほか、各種の転職フェア・移住フェアや相談会に出展して求職者や移住希望者の掘り起こしを行い、I J Uターン就職・移住定住に向けた支援を行った。 <p>b 移住定住への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> (公財)ふるさと鳥取県定住機構と協力し、毎月1回「移住休日相談会」及び「平日ナイター相談会」を行った。 <p>c 首都圏の大学等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 首都圏の大学に在学する学生の本県へのI J Uターン就職を促進するため、大学に働きかけを行い、参加可能な大学については学内の就職相談会等に参加して学生の相談対応等を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ■実施大学数：7大学 首都圏の大学生が堅苦しくなく気楽に楽しめる「首都圏学生交流会」を開催し、学生と鳥取県(県立東京ハローワーク)との関係性の構築を図った。(10月5日実施、参加学生数：20名) 首都圏の大学生を対象とした鳥取県内企業見学ツアー(とっとりWork Work(ワクワク)飛行機ツアー)を実施し、県内企業等4社を訪問するとともに、企業フェア(約100社が出展)にも参加し、県内就職への意識醸成を図った。(12月25日・26日実施、参加学生数14名) 鳥取県学生寮と連携し、寮生に就職活動の初期アプローチに必要な知識・情報を提供する「就活セミナー」を開催し、首都圏からUターンした先輩の講演等により、早い段階からUターン就職を意識付けた。 <ul style="list-style-type: none"> ■清和寮(女子寮)：10月27日実施、34名参加 ■明倫館(男子寮)：11月16日実施、49名参加 首都圏の主要大学の中で県内出身学生が多い早稲田大学の学生県人会と連携し、学園祭で鳥取ブースを出展し鳥取県のPR(鳥取県の特産品販売等)を行った。(10月20日早稲田大学稲門祭) 				

イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

(ア) 県立東京ハローワークの移転

相談者にとって敷居が高いという声のあった永田町の官庁ビルである都道府県会館10階から、基幹駅である新橋駅近くで利便性が高い上、鳥取県・岡山県のアンテナショップやレストランと同じ施設内で入りやすく、さらに、夜間や休日の対応も可能な場所に「移住・しごと相談コーナー」として移転した。

※「移住・しごと相談コーナー」の営業日・営業時間

- ・営業日 年中無休（年末年始を除く）
- ・営業時間 10：00～18：00（木・金・土曜日は、20：45まで時間延長）

(イ) 県立東京ハローワーク（移住・しごと相談コーナー）の周知

鳥取県立東京ハローワーク（移住・しごと相談コーナー）の存在について広く周知を図るため、可能な限り多くのイベント等に参加し、「打って出るハローワーク」の取り組みに努めた。

(ウ) 転職フェア等への出展

鳥取県での就職や移住を考える方の裾野を広げるため、転職希望者への発信力や信用力の高い大手転職サイトの転職フェアや、移住に関するフェアに積極的に出展し、鳥取県を選択肢に考えていただける方の掘り起こし及び事後のサンクスメールを始めとする継続的コンタクトにより相談につなげるよう努めた。

(エ) 大学等及び学生との連携強化

初の取組として、鳥取県出身または鳥取県に興味のある学生による交流会を開催し、学生と鳥取県（県立東京ハローワーク）との関係性の構築を図った。具体的には、「移住・しごと相談コーナー」を知ってもらい、気軽に相談してもらえる関係を構築することを主眼に、学生が気軽に楽しめるイベント（食事会と、隅田川の水の上バス（日の出棧橋→浅草）の体験乗船）を開催した。

また、大学生とつながることができるよう、県立東京ハローワークでLINEアカウントを取得し、イベント情報や就職に関する情報を随時発信できる環境を整備した。今後これを活用し、ネットワークを広げていくこととしている。

ウ 成果及び効果

- ・県立ハローワークでは、10名の就職（Iターン5名、Uターン5名）が決定した。
- ・移住定住関係では、24組（Iターン14組、Uターン10組）の移住が決定した。
- ・県立東京ハローワークを、相談者にとって行きやすい場所、行きやすい時間での対応が可能なアンテナショップの2階に移転し、「移住・しごと相談コーナー」としたことにより、来所による相談件数は、就業相談7.4倍（前年度12月末19件）、移住相談4.7倍（前年度12月末31件）と、大幅に増加した。

（令和元年12月31日現在、単位：件）

区 分	相談件数	左の内訳			実 績
		来 所	訪問等	電話等	
就労支援	1,725(1,665)	123(20)	354(416)	1,248(1,229)	10(11)
移住・定住支援	383(638)	168(77)	90(136)	125(425)	24(16)

※（ ）は平成30年度の年間実績。

エ 課 題

- ・岡山県との協力により「移住・しごと相談コーナー」で全国にも例のない「年中無休」（年末年始を除く）の取組を行っているが、首都圏には各自治体の類似施設をはじめ様々な施設が多くあり、埋没しがちである。広報を強化し、その存在・取組をアピールする必要がある。
- ・首都圏の各大学には本県出身学生が少なく、就職セミナー等への参加者がなかなか集まらない実情がある。このため、ふるさと人口政策課が新たに導入したアプリ（高校卒業時に県外進学予定者等に登録を呼びかける）や県立東京ハローワークのLINEを活用するほか、県主催イベントや、大学のUIターンセミナーなど、あらゆる機会や手法を通じてネットワークを構築していく必要がある。

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
首都圏における情報発信・ゆかりメディア等との連携	15,134			15,134
鳥取元気プロジェクト	—			
元気づくり総合戦略	—			
(概要)				
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
首都圏における鳥取県の認知度向上と誘客促進を図るとともに、鳥取県にゆかりのあるメディアの関係者(県出身者、県内勤務経験者、県内取材経験者等)等との連携を強化することにより、県政に対する支援・協力体制を整備するとともに、そのネットワークを活用した鳥取県PRイベントを開催し、本県の情報発信を推進する。				
(イ) 事業の実施状況				
事業	内容			
イベントでのPR ※資料番号22 (1)参照	県観光連盟や交流自治体等と連携し、観光誘客イベント等を実施した。			
マスメディアを活用した情報発信 ※資料番号22 (2)参照	首都圏に拠点を置くテレビ、ラジオ、雑誌、新聞、インターネット媒体を通じて旬の鳥取県の情報を発信した。			
首都圏でのネットワーク構築・活用	○「鳥取県ゆかりメディアの集い」の開催 日時：9月9日(月) 19時～21時 場所：都市センターホテル 概要：鳥取県出身者、鳥取県勤務歴又は鳥取取材経験があるなど、鳥取にゆかりのある関東在住の約90名のメディアの方々に集まっていたいただき、鳥取県の観光・物産などの施策についてPRした。			
ネットワークを活用したメディア露出イベント	○星空舞PRイベント 日時：9月24日(火) 11時30分～13時30分 場所：とっとり・おかやま新橋館2階催事スペース 概要：扶桑社の主婦向けの全国誌『ESSE』と組み、ESSEプラチナレポーターが参加し、星空舞のミニセミナーやお弁当を作成する「星空舞ランチタイムセミナー」を実施した。			
	○外国人向け伝統芸能等PRイベント 日時：10月13日(日) 13時30分～15時30分 場所：とっとり・おかやま新橋館2階催事スペース・レストラン 概要：訪日外国人を対象に江府町の下蚊屋荒神神楽保存会による荒神神楽の披露を行うとともに、神楽備品の展示・体験や県産品や地酒を使った飲食の提供、観光PRを実施した。(台風19号の影響により、12日に予定していたイベントは中止した。)			

イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・県外に住みながら、観光以上定住未満で、特定の地域と継続的かつ多様なかたちで関わり、応援する「関係人口」の創出と拡大を図るため、首都圏での観光・物産イベントなどの際に、出張歓迎案内所コーナーを設置し、関係人口拡大に向けたPRを行った。
- ・令和2年に首都圏を中心に開催されるオリンピック・パラリンピック東京大会を見据えて、外国人を対象とした鳥取県のPRとするため、外国人に人気の高い伝統芸能である神楽の公演を通して関心を持っていただくようにアピールした。

ウ 成果及び効果

- ・各種メディア等を通じて本県の観光・県産品等の情報発信したことで、「地域ブランド調査2019（ブランド総合研究所）」において、鳥取県に行ってみたいと思う「観光意欲度」が平成30年の29.1点（第37位）から、令和元年は31.8点（第25位）と向上している。
- ・本庁の観光担当部局とも連携して首都圏でのPRを進め、航空便の客数では平成30年度から令和元年度において鳥取―羽田便は前年比100.4%、米子―羽田便は前年比103.7%となっている（いずれも令和2年1月末時点の状況）。
- ・「鳥取県ゆかりメディアの集い」の開催を契機にこれまで把握できていなかった鳥取県ゆかりのメディア関係者とのつながりができる等、メディア関係者とのフェイストゥーフェイスの関係を築くことができた。それをもとに、鳥取県の情報発信に関するアドバイスを受けてそれを地元の関係部署に報告する等、首都圏での情報発信に関するフィードバックが可能となった。

エ 課題

- ・観光誘客や関係人口拡大・移住定住促進を更に進めるため、本県にゆかりのあるメディアや著名人などと連携して首都圏での新たな鳥取ファンを醸成するなど、効果的な情報発信を実施する必要がある。
- ・本年開催されるオリンピック・パラリンピック東京大会により国内外から日本が大きく注目される中、その機会を利用して首都圏中心を訪問する海外メディア等に対して開催後を見据えた情報発信を積極的に取り組む必要がある。

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
首都圏におけるアンテナショップの運営	128,463		12,243	116,220
鳥取元気プロジェクト	—			
元気づくり総合戦略	—			

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

鳥取県と岡山県が共同でアンテナショップを設置し、両県が連携することによる相乗効果で、首都圏における情報発信、販路開拓等の一層の推進を図る。

(イ) 事業の実施状況

【共同アンテナショップの運営状況】

- a 開館日 平成26年9月28日(リニューアルオープン：平成31年4月26日)
- b 物販店舗及び飲食店舗の運営
物販店舗は(株)フジランドに運営を委託し、鳥取・岡山両県の特産品約1,600品目を販売した。
飲食店舗は(株)稲田屋本店に運営を委託し、鳥取・岡山両県の食材を使った料理を提供した。
- c 情報コーナーの運営
鳥取・岡山両県の主に観光相談に応じるスタッフを配置(鳥取県、岡山県各2名)して対面での対応を行い、更なる観光誘客を図った。
- d 催事スペース等の運営
2階に催事スペース、1階にプロモーションゾーンを設け、県内事業者に対し県産品の展示・試食販売等を行う機会の提供、首都圏在住者に対し移住に関する説明・相談会の開催等を行った。
- e 移住・しごと相談コーナーの運営
就職及びI J Uターンを支援する専門職員が常駐し、就職と移住の相談がワンストップでできる場を提供した。
- f コワーキングスペースの運営
首都圏に販路を求めている両県の事業者に対して、オープンスペースを共同のオフィスとして使用できる場を提供した。

※ e、fの施設は、リニューアルオープン(平成31年4月26日)の際に新設した機能。

【令和元年度実績(平成31年4月26日～令和元年12月31日)】

- a 入館者数 343,432人(前年度同期実績：380,537人)
- b 売上金額 店舗合計 254,443千円(前年度同期実績：294,914千円)
物販店舗 189,221千円(前年度同期実績：219,038千円)
飲食店舗 65,222千円(前年度同期実績：75,876千円)
- c 催事スペース等の利用日数及び主なイベント

<利用日数(平成31年4月26日～令和元年12月31日)>

区分	利用日数	うち鳥取県関連
プロモーションゾーン(1階)	143日	85日
催事スペース(2階)	164日	79日

<主なイベント> ※ 資料番号 2 1 参照

■ 鳥取県単独の情報発信

催事名	催事名	実施概要
鳥取産新物らっきょう産直市<物販店舗>	5月23日(木) ~6月10日(月)	鳥取県北栄町産、福部町産の生らっきょうの新物、らっきょう酢、姫とうがらしの店頭販売を実施した。
境港産生本まぐろフェア<飲食店舗>	6月10日(月) ~7月5日(金)	境港産生本まぐろを使った「握り(赤身、中トロ)」、「カルパッチョ」等の期間限定メニューを提供した。
鳥取産スイカまつり<物販店舗>	6月12日(水) ~7月2日(火)	大栄西瓜GI登録の知事PR、大栄西瓜・倉吉スイカの大玉等の店頭販売を実施した。

■ 鳥取県と岡山県が共同で実施した主なイベント

催事名	開催期間	実施概要
リニューアルオープンイベント ・人気の老舗銘菓こたわりパンフェア ・特別ランチ&カフェメニュー	4月26日(金) ~5月6日 (月・祝)	・鳥取・岡山両県知事出席のもと、リニューアルオープンセレモニー等の開催、新たに取り組を始めた鳥取の「打吹公園だんご」、「タルマーリー天然酵母パン」、岡山の「調布」、「上あんの油パン」等の店頭販売を実施した。 ・鳥取の「鳥取和牛ビーフストロガノフ」、岡山の「鱈井」等の特別メニューを提供した。
とっとり・おかやま新橋館5周年記念イベント	9月12日(木) ~11月4日 (月・祝)	・鳥取・岡山両県知事による特産品PR、開設5周年を記念して、鳥取・岡山の人気商品を期間限定でワンコイン(500円)等で特別販売した。 ・開設5周年を記念して、「梨とぶどうのパフェ」や「両県和牛の食べ比べ」等の特別メニューを提供した。
紅ずわい蟹と岡山パクチャーフェア	11月5日(火) ~12月1日(日)	鳥取県境港産「紅ずわい蟹」を食材に使った「かに味噌グラタン」、岡山県産「岡山マイルドパクチャー」を食材に使った「パクチャー塩レモンサラダ」等を合わせて提供した。

d 情報コーナーにおける相談件数(平成31年4月26日~令和元年12月31日)

895件(うち鳥取県関連 506件)

e コワーキングスペース利用登録事業者数(平成31年4月26日~令和元年12月31日)

10社(長期登録4社、短期登録6社)[うち鳥取県 3社(長期登録2社、短期登録1社)]

イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

平成31年4月26日に物販店舗及び飲食店舗の店舗内装飾等のリニューアルを行うとともに、就職と移住の相談がワンストップでできる「移住・しごと相談コーナー」とオープンスペースを共同でオフィスとして利用できる「コワーキングスペース」を新たに設置し、情報発信・販路開拓の拠点として機能強化を行った。

ウ 成果及び効果

- ・リニューアルオープン以降の入館者数は年間約50万人、全体の売上高は年間約3億6千万円と、これまでの実績を維持するペースで安定的に推移している。
- ・移住・しごと相談コーナーは、新橋という利便性が高い場所に移転し、岡山県との共同運営により年中無休(年末年始を除く)としたことから、利用者は前年度から大きく増加している。

エ 課題

- ・現在、来館者数や売上高等で安定的な運営がなされているが、新たな県産品の発掘や接客サービスの向上により一層取り組み、魅力あふれるアンテナショップへ発展していく必要がある。
- ・コワーキングスペースは、利用登録事業者数が10社と低調であることから、認知度向上と利用者ニーズの把握のため、令和2年1月から今年度末まで無料お試し券と利用者アンケートを実施する予定である。

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳																																						
		国庫支出金	その他	一般財源																																				
首都圏における販路開拓推進	9,045			9,045																																				
鳥取元気プロジェクト	—																																							
元気づくり総合戦略	—																																							
(概要)																																								
ア 目的及び事業の実施状況																																								
(ア) 目的																																								
首都圏における県産品(農林水産物、加工食品等)の認知度の向上を図るとともに、百貨店、量販店等への販路を開拓する。																																								
(イ) 事業の実施状況 ※ 資料番号21参照																																								
a 販路開拓マネージャーの配置																																								
販路開拓のエキスパートとして首都圏のスーパーマーケット、百貨店、食品専門店、通信販売などのパイヤーに対して県産品の取引の定番化を働きかける「販路開拓マネージャー」を1名配置した。																																								
b スーパーマーケット、百貨店等への県産農林水産物の販路開拓																																								
・首都圏のスーパーマーケット「いなげや」で、「すいか」と「梨」について、幟やチラシ等の販促物を貸与し販売促進支援を行った。(今年度で4年目)																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>商品名</th> <th>品 種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>すいか</td> <td>倉吉すいか、極実すいか</td> </tr> <tr> <td>梨</td> <td>新甘泉梨、二十世紀梨、王秋梨</td> </tr> </tbody> </table>					商品名	品 種	すいか	倉吉すいか、極実すいか	梨	新甘泉梨、二十世紀梨、王秋梨																														
商品名	品 種																																							
すいか	倉吉すいか、極実すいか																																							
梨	新甘泉梨、二十世紀梨、王秋梨																																							
・本年度初めて、首都圏のスーパーマーケット「サカガミ」と「三浦屋」で「極実すいか」について、幟やチラシ等の販促物を貸与し販売促進支援を行った。																																								
・「境産本まぐろ」については、首都圏のスーパーマーケット「スズキヤ」、百貨店「京王百貨店」、「マルイファミリー」において、解体ショーの実施や幟、チラシ等での販促を実施した。																																								
c スーパーマーケットや百貨店等への県産加工食品の販路開拓																																								
スーパーマーケット、食品専門店、百貨店等のパイヤーを鳥取県へ招聘し県内事業者との商談をアレンジし、県産品のフェアや特集の開催の実現に結びつけ、最終的には定番商品を目指して継続的に支援を行った。																																								
d 百貨店等での物産フェア等の開催																																								
百貨店やスーパーマーケットにおける県産品のPRや定番化等を目的とした物産フェアを開催した。																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>開催店舗名(期間中延べ来店者数)</th> <th>開催期間</th> <th>取引事業者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>そごう川口店(40,000人)</td> <td>4月16日(火)~23日(火)</td> <td>2社</td> </tr> <tr> <td>おのおのや(株)大寿5店舗(25,000人)</td> <td>6月7日(金)~11日(火)</td> <td>17社</td> </tr> <tr> <td>三徳36店舗(144,000人)</td> <td>8月24日(土)~27日(火)</td> <td>15社</td> </tr> <tr> <td>横浜高島屋(56,000人)</td> <td>8月28日(水)~9月3日(火)</td> <td>10社</td> </tr> <tr> <td>三越銀座店(70,000人)</td> <td>9月4日(水)~10日(火)</td> <td>13社</td> </tr> <tr> <td>伊勢丹新宿店(70,000人)</td> <td>10月16日(水)~22日(火)</td> <td>10社</td> </tr> <tr> <td>よしや12店舗(24,000人)</td> <td>10月26日(土)・27日(日)</td> <td>38社</td> </tr> <tr> <td>三浦屋11店舗(77,000人)</td> <td>11月12日(火)~18日(月)</td> <td>10社</td> </tr> <tr> <td>三越日本橋店(50,000人)</td> <td>11月13日(水)~17日(日)</td> <td>9社</td> </tr> <tr> <td>スズキヤ11店舗(33,000人)</td> <td>11月27日(水)~29日(金)</td> <td>13社</td> </tr> <tr> <td>御馳走えん(14,000人)</td> <td>12月5日(木)~18日(水)</td> <td>26社</td> </tr> </tbody> </table>					開催店舗名(期間中延べ来店者数)	開催期間	取引事業者数	そごう川口店(40,000人)	4月16日(火)~23日(火)	2社	おのおのや(株)大寿5店舗(25,000人)	6月7日(金)~11日(火)	17社	三徳36店舗(144,000人)	8月24日(土)~27日(火)	15社	横浜高島屋(56,000人)	8月28日(水)~9月3日(火)	10社	三越銀座店(70,000人)	9月4日(水)~10日(火)	13社	伊勢丹新宿店(70,000人)	10月16日(水)~22日(火)	10社	よしや12店舗(24,000人)	10月26日(土)・27日(日)	38社	三浦屋11店舗(77,000人)	11月12日(火)~18日(月)	10社	三越日本橋店(50,000人)	11月13日(水)~17日(日)	9社	スズキヤ11店舗(33,000人)	11月27日(水)~29日(金)	13社	御馳走えん(14,000人)	12月5日(木)~18日(水)	26社
開催店舗名(期間中延べ来店者数)	開催期間	取引事業者数																																						
そごう川口店(40,000人)	4月16日(火)~23日(火)	2社																																						
おのおのや(株)大寿5店舗(25,000人)	6月7日(金)~11日(火)	17社																																						
三徳36店舗(144,000人)	8月24日(土)~27日(火)	15社																																						
横浜高島屋(56,000人)	8月28日(水)~9月3日(火)	10社																																						
三越銀座店(70,000人)	9月4日(水)~10日(火)	13社																																						
伊勢丹新宿店(70,000人)	10月16日(水)~22日(火)	10社																																						
よしや12店舗(24,000人)	10月26日(土)・27日(日)	38社																																						
三浦屋11店舗(77,000人)	11月12日(火)~18日(月)	10社																																						
三越日本橋店(50,000人)	11月13日(水)~17日(日)	9社																																						
スズキヤ11店舗(33,000人)	11月27日(水)~29日(金)	13社																																						
御馳走えん(14,000人)	12月5日(木)~18日(水)	26社																																						
e 首都圏の飲食店等への販路開拓																																								
高級創作中華料理店2件と全国の食材を使ったメニューを提供する旅行代理店直営の飲食店に対して、県産食材の紹介、情報発信経費への支援等を行って鳥取フェアを開催した。																																								

f メディアと連携した県産品の情報発信

- ・「すいか」、「梨」については、キャラバン隊を編成し首都圏メディアへPR訪問を行った。
- ・認知度向上を図るため、料理雑誌社と連携して、「らっきょう」、「ベニズワイガニ」をメイン食材とする料理教室を開催した。

g 協定締結企業等での販売、市場での試食PRによる県産品の情報発信

- ・「鳥取すいか」、「鳥取梨」、「輝太郎柿」については、市場や高級果物店でPRのための試食を行った。
- ・保険会社の本社内、大学の学園祭、区役所の玄関ロビー内等で県産品を販売することで、首都圏の方々に直接的なPRを行った。

イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・スーパーマーケット、食品専門店、百貨店等のバイヤーと顔の見える関係性の構築を図るため、適時、バイヤーを県内に招聘し県内事業者との商談を行うなど、柔軟に対応した。
- ・首都圏への販路開拓を効率的に進めるため、鳥取県商工会連合会と連携して、県内全域の食品加工業者が対象となるような商談会を開催した。

ウ 成果及び効果

- ・県産特産品のすいか（極実すいか、倉吉すいか）、梨（新甘泉、二十世紀梨）について、首都圏のスーパーマーケット「いなげや」等でのPR販売の販売実績が好調なため、来年度も引き続き実施することとなった。
- ・東京本部が関わって取引まで至った商品数は、延べ516品目で、昨年同期の375品目と比べると1年間で100品目以上の増加となった。

■取引企業と取引商品の実績

企業名（店舗数）	商品取引事業者数・商品数と主な取引商品
(株)よしや(12店舗)	61社・185品目：鳥取和牛、星空舞、鬼しじみ、さばメンチカツ、栗饅頭等
(株)ピ-ワイ-1(1店舗)	33社・72品目：かにみそバーニャカウダ、ジビエ缶詰（鹿肉のポルペッティ）等
(株)日本百貨店(9店舗)	24社・55品目：はと麦茶、あご入り鰹ふりだし、干し柿（あんぼ柿）等
(株)大寿(おおのや)(6店舗)	23社・45品目：ベルギーワッフル各種、かにみそバーニャカウダ等
(株)スズキヤ(11店舗)	23社・37品目：鬼しじみ、カニクリームコロッケ、二十世紀梨缶チューハイ等
(株)三浦屋(11店舗)	18社・37品目：アジフライ、ジャンボエリンギ、ねばりっこ等
(株)サカガミ(8店舗)	15社・36品目：ジャンボエリンギ、二十世紀梨、極実すいか等
(株)ルクサ(ネット販売)	9社・24品目：ぷちころ柿、にんにく卵黄ふりかけ等
(株)東急百貨店(2店舗)	2社・12品目：大山ハム各種、ナッツの蜂蜜漬け等
(株)アスクル(ネット販売)	2社・4品目：あご入り鰹ふりだし、桑の葉茶等
(株)いなげや(138店舗)	1社・4品目：らっきょう、すいか、梨等
(株)サザビーリーグ (あこめや)(3店舗)	1社・2品目：ねぎ酢、ねぎポン酢
(株)三越伊勢丹 IM7フードスタイル(20店舗)	1社・1品目：あご入り鰹ふりだし
(株)京北スーパー(8店舗)	1社・1品目：ごぼう茶
(株)もへじ(400店舗)	1社・1品目：麴漬け（するめいか）

エ 課題

- ・今後においては、首都圏バイヤーが求める商品や県内事業者の掘り起こし及び首都圏バイヤーと県内事業者を結び付ける取組を強化し、定番化する県産品のより一層の拡大を目指す。
- ・効果的に県内全域を対象として事業者の掘り起こしを行うために、より一層、商工団体（県内4商工会議所、県商工会連合会、県産業振興機構）と連携していく必要がある。

6 決算資料（総括表） 別途提出

7 事業別実施状況調べ 別途提出

8 予備費の充用調べ 別途提出

9 繰越関係調べ 該当なし

10 収入証紙取扱額調べ 有 ・ 無

11 現金の取扱状況

ア 現金取扱状況

収入科目（節）	収入済額（円）	件数（件）	備 考
寄附金	120,000	2	ふるさと納税
合 計	120,000	2	

イ つり銭の状況 該当なし

12 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地 該当なし

イ 建物 該当なし

ウ 山林 該当なし

エ 不動産売却等 該当なし

オ 財産の交換 該当なし

カ 動産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機） 該当なし

キ 物件 該当なし

ク 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等） 該当なし

ケ 有価証券 該当なし

コ 出資による権利

(令和元年12月31日現在)

区 分	前年度末 (数量、金額)	本年度中		本年度末 (数量、金額)	法人名	備 考
		増	減			
出損金 (都道府県 会館設立に 係るもの)	709,000,000円	0円	0円	709,000,000円	(公財) 都道府県 センター	H6:200,000,000円 H7:290,000,000円 H8:219,000,000円
合 計	709,000,000円	0円	0円	709,000,000円		

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況 有 ・ 無

イ タクシーチケットの保有状況

(令和元年12月31日現在)

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		本年度末未使用枚数
	購 入 枚 数	使用枚数及び金額	
137枚	400枚	118枚 200,300円	340枚

※誤記及び使用期限切れに伴う本年度未使用枚数：79枚

(3) 基金 該当なし

(4) 債権

(令和元年12月31日現在)

債権の名称	前年度末		本年度中				本年度末		備考
	金額	件数	増		減		金額	件数	
			金額	件数	金額	件数			
鳥取県岡山県共同アンテナショップ賃貸に係る敷金	76,881,936円	1件	0円	0件	0円	0件	76,881,936円	1件	

13 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地 該当なし

イ 建物

(令和元年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先住所氏名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
借受不動産	事務スペース	東京都千代田区平河町2-6-3	3.3㎡	H31.4.1	H13.4.1	H31.4.1 ~R2.3.31	月額 年額 170,922	170,922	鳥取県鳥取市若葉台南7-5-1 (公財)鳥取県産業振興機構	文書ID 18- 00347199
			3.3㎡	H31.4.1	H19.3.7		月額 年額 170,922	170,922	鳥取県鳥取市相生町4-411 (公社)鳥取県観光連盟	
			3.3㎡	H31.4.1	H24.11.21		月額 年額 170,922	170,922	鳥取県鳥取市西町2-311 (一財)鳥取開発公社	
			3.3㎡	H31.4.1	H26.4.1		月額 年額 170,922	170,922	鳥取県鳥取市湖山町南4-101 国立大学法人鳥取大学	
			3.3㎡	H31.4.1	H26.4.1		月額 年額 170,922	170,922	鳥取県鳥取市末広温泉町160 (一社)鳥取県物産協会	
計							854,610			
合計							854,610			

(2) 物品 (1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの)

該当なし

14 借受不動産明細調べ

区分	種別	借受(使用)目的	所在地	数量又は面積	契約の状況				借受先 住所氏名	備考
					契約書の有無	借受期間	借料(円)			
							単価	本年度の借料		
建物	SRC造 地下3階 地上16階	東京本部 事務室	東京都千代田区 平河町2-6-3	245.7㎡	有	H31.4.1 ~R2.3.31	月額 4~9月 1,050,808 10~3月 1,070,269	12,726,462	東京都千代田区平河町2-6-3 (公財)都道府県センター 理事長 飯泉嘉門	
建物	SRC造 地下1階 地上10階	アンテナ ショップ	東京都港区新橋 1-11-7	2階 587.34㎡ 1階 354.01㎡ 計 941.35㎡	有	H31.4.1 ~R6.3.31	月額 6,919,374	83,032,488	東京都港区青山2-6-21 東急不動産(株)都市事業 ユニット都市事業本部 執行役員本部長 友井俊介	
合計								95,758,950		

15 職員駐車場の管理状況調べ
該当なし

16 寄附物件の受納状況調べ

品名	規格、銘柄等	数量	見積金額	寄附申込年月日	寄附申込者氏名	受納年月日	受納手続の有無	備考
油絵(作品名:砂丘夕映)	油絵/P30号	1枚	28,500円	R1.7.19	個人	R1.7.29	有	
合計			28,500円					

17 備品の処分状況調べ
該当なし

18 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

- (1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ 有・無
- (2) 物品の照合 有・無

19 貸付金等状況調べ 該当なし

20 企業誘致の状況

(1) 企業誘致の条件、目標等

- ・雇用の質の向上に資する足腰の強い産業構造を構築するため、県の経済成長戦略の戦略推進分野である成長3分野（医療機器分野、自動車産業、航空機分野）及びICT（鳥取県戦略産業雇用創造プロジェクト）を中心に企業誘致を進める。
- ・中でも東京においては、特にICT、医療機器などを中心に誘致活動を行う。
※ 東京からの距離・輸送コストがネックとなり、製造業では関東から鳥取への立地を考える企業は少なかったこと、特に製造工場は、東北の復興と、国予算も投入しての東北への進出支援が進む中、東北よりも遠隔の鳥取県は候補になりにくいことから、製品やサービスの価格（付加価値）に占める重量や輸送費の割合が低いなど、首都圏との間での輸送コスト・通信コストが大きな不利にならない可能性がある分野をターゲットとする。
- ・正規雇用の確保も考慮し、付加価値の高い事業の誘致に努める。
※ 鳥取県内でも人手不足の状況となっており、低賃金で大量雇用を行うようなビジネスモデルではなく、県民所得の向上に資するような事業の誘致に努める。

(2) 企業訪問

ア 訪問企業数（令和元年12月31日現在） 延148社（16.4社/月）

イ 内 訳

（令和元年12月31日現在）

区 分	企業誘致に係る延訪問数	うち、フォロー訪問実施数	備 考
ICT・IOT分野	132社	27社	
医療機器分野	4社	4社	
その他（製造業等）	12社	1社	精密機器、光学機器、ロボット（ITでなく機械部分）等を中心に
計	148社	32社	

※ フォロー訪問は、新規訪問後に何らかの進展の可能性が見込まれ、かつ、再度のアポイントに承諾が得られた社について、継続・進展を目的に実施。

(3) 企業の要望、課題等

- ・首都圏の各分野の企業とも、特に技術系の人材の確保が課題となっており、鳥取県への立地を検討するに当たって、技術人材の確保が求められている。
- ・鳥取県の有効求人倍率が1.67倍（令和元年12月）となっており、全国13位の高さで地元での人材確保も困難な状況である。東京都を除く首都圏（神奈川県1.19倍、埼玉県1.28倍、千葉県1.30倍）よりも高く、人手不足対応のために地方立地を考える多くの企業からみて、鳥取県への立地の魅力は感じられにくくなっている。
- ・県内の状況から、首都圏を含む県外からのIJUターン就職のさらなる促進が求められている。そのため、平成29年7月に開設し、昨年4月にアンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」に移転した「県立東京ハローワーク」の周知や、大手転職サイトの活用等、鳥取県へのIJUターン就職の取り組みを一層進めていく必要がある。
- ・また、現代の産業社会では、企業の必要とする人材ニーズやスキルは細分化されているため、より根本的には、県内での職業教育や職業教育機関の充実等により、長期的に県内の人材全体・技術者全体のレベルアップを図っていく必要がある。

(4) その他

(公財)鳥取県産業振興機構と連携して、首都圏からの受注を目指す県内企業と首都圏の企業との橋渡しを行うべく、首都圏企業に対する県内工業製品の紹介、発注交渉等を行った。県内企業と首都圏企業との販路開拓において新規では147社を訪問し34件の引合案件を得た。なお、継続して支援している案件では、把握できた主なものだけで約46,000千円の受注があった。

2.1 県内物産の展示、宣伝、紹介の状況

(1) イベントでのPR

(令和元年12月31日現在)

名称	内容	期間	場所	実施主体	事業内容
春の日本橋まつり	販売	4月7日(日)	日本橋(中央区)	東京本部、物産協会	県内事業者出店販売・観光PR
そごう川口「山陰・山陽フェア」	販売	4月16日(火)~23日(火)	そごう川口店(川口市)	東京本部、物産協会	県内事業者出店販売
らっきょう漬け講習会	販促PR	6月1日(土)他	豊洲市場(江東区)他	東京本部、全農とっとり	らっきょうの販促PR
スーパーおおのや山陰フェア	販売	6月7日(金)~11日(火)	スーパーおおのや(川崎市他)	東京本部	県産品の販売
大田市場「鳥取すいか」出荷セレモニー	販促PR	6月15日(土)	大田市場(大田区)	販路拡大・輸出促進課、東京本部、全農とっとり	鳥取すいかの試食会等販促PR
スーパースズキヤ境港産本マグロ・ベニズワイガニPR	販促PR	6月21日(金)	スーパースズキヤ(横浜市)	東京本部、境港市産地協議会	本マグロ・ベニズワイガニの試食等販促PR
京王百貨店境港産本マグロPR	販促PR	6月22日(土)	京王百貨店(新宿区)	東京本部、境港市産地協議会	本マグロの試食等販促PR
マルイファミリー境港産ベニズワイガニPR	販促PR	6月22日(土)	マルイファミリー(志木市)	東京本部、境港市産地協議会	本マグロの試食等販促PR
スーパーいなげや倉吉スイカ販売	販売	6月中旬~下旬	スーパーいなげや(立川市他)	東京本部	県産品の販売
スーパーいなげや極実スイカ販売	販売	6月下旬~7月中旬	スーパーいなげや(立川市他)	東京本部	県産品の販売
スーパーサカガミ極実スイカ販売	販売	6月下旬~7月中旬	スーパーサカガミ(豊島区他)	東京本部	県産品の販売
スーパー三浦屋極実スイカ販売	販売	6月下旬~7月中旬	スーパー三浦屋(杉並区他)	東京本部	県産品の販売
大田市場「極実すいか」出荷セレモニー	販促PR	7月1日(月)	大田市場(大田区)	東京本部、JA鳥取中央	極実すいかの試食会等販促PR
三井住友火災保険(株)での鳥取県物産展	販売	7月12日(金)	三井住友火災保険(株)(千代田区)	東京本部	アンテナショップ出店販売
スーパー三徳「山陰・山陽味めぐり」	販売	8月24日(土)~27日(火)	スーパー三徳(新宿区他)	物産協会、東京本部	県産品の販売
横浜高島屋「鳥取フェア」	販売	8月28日(水)~9月3日(火)	横浜高島屋(横浜市)	物産協会、東京本部	県内事業者出店販売
京橋千疋屋新甘泉販売	販売	8月29日(木)	千疋屋アトレ恵比寿店(渋谷区)	販路拡大・輸出促進課、東京本部、全農とっとり	新甘泉の試食会等販促PR
大田市場「鳥取の梨」出荷セレモニー	販促PR	8月30日(金)	大田市場(大田区)	販路拡大・輸出促進課、東京本部、全農とっとり	二十世紀梨等の試食会等販促PR

名称	内容	期間	場所	実施主体	事業内容
スーパーいなげや 二十世紀梨・新甘 泉販売	販売	8月下旬 ～9月中旬	スーパーいなげ や（立川市他）	東京本部	県産品の販売
新宿高野二十世紀 梨・新甘泉販売	販売	9月1日(日) ～2日(月)	新宿高野本店 （新宿区）	販路拡大・輸出促 進課、東京本部、 全農とっとり	二十世紀梨等の 試食会等販促P R
三越銀座店「鳥取 フェア」	販売	9月4日(水) ～10日(火)	三越銀座店（中 央区）	物産協会、販路拡 大・輸出促進課、 東京本部	県産品の販売
東京海上日動火災 保険（株）での鳥 取県物産展	販売	9月14日(土)	東京海上日動火 災保険（株） （千代田区）	東京本部	アンテナショッ プ出店販売
南国酒家鳥取フェ ア	料理 提供	9月18日(水) ～11月12日(火)	南国酒家原宿本 店（渋谷区）	東京本部	県産食材の料理 提供
鳥取PRイベント	イベ ント、 販売	9月26日(木)、 27日(金)	東京シティアイ （千代田区）	東京本部、鳥取県 観光連盟	アンテナショッ プ出店販売、観 光PR
ベニズワイガニを 食べる会	販促 PR	9月28日(土)	コトラボ阿佐ヶ 谷（杉並区）	東京本部、境港市 産地協議会	県産食材PR
大田市場「輝太郎 柿」試食会	PR	10月5日(土)	大田市場（大田 区）	販路拡大・輸出促 進課、東京本部、 全農とっとり	輝太郎試食PR
港区全国連携マル シェ	販売	10月5日(土)	港区立プラタナ ス公園（港区）	東京本部	アンテナショッ プ出店販売
伊勢丹新宿店 「鳥取フェア」	販売	10月16日(水) ～22日(火)	伊勢丹新宿店 （新宿区）	物産協会、販路拡 大・輸出促進課、 東京本部	県産品の販売
東京鳥取県人会総 会・懇親の集い	販売	10月14日 (月・祝)	都市センターホ テル（千代田 区）	東京本部	アンテナショッ プ出店販売
伊勢丹新宿店 「鳥取フェア」	販売	10月16日(水) ～22日(火)	伊勢丹新宿店 （新宿区）	物産協会、東京本 部	県内事業者出店 販売
トゥーランドット 臥龍居鳥取フェア	料理 提供	10月18日(金)	トゥーランドッ ト臥龍居（港 区）	東京本部	県産食材の料理 提供
トゥーランドット 臥龍居鳥取マルシ ェ	販売	10月19日(土)、 20日(日)	トゥーランドッ ト臥龍居（港 区）	東京本部	県内事業者出店 販売
銀座料理飲食業組 合「農産物チャー リティー頒布会」	イベ ント	10月26日(土)	数寄屋橋公園 （中央区）	東京本部	県産食材・観光 PR
スーパーよしや 「鳥取フェア」	販売	10月26日(土)、 27日(日)	スーパーよしや （板橋区他）	東京本部	県産品の販売
明治大学ホームカ ミングデイ	販売	10月27日(日)	明治大学（千代 田区）	教育・学術振興 課、東京本部	アンテナショッ プ出店販売
日本橋・京橋まつ り	販売	10月27日(日)	日本橋（中央 区）	物産協会、東京本 部	県内事業者出店 販売・観光PR
豊洲市場「王秋 梨」試食会	PR	11月6日(水)	豊洲市場（江東 区）	東京本部、JA鳥 取中央	王秋梨試食PR
福田屋お歳暮ギフ ト鳥取特集	販売	11月8日(金) ～12月22日(日)	福田屋（宇都宮 市）	東京本部	県産品の販売
楽天での鳥取県物 産展	販売	11月12日(火)	楽天本社（世田 谷区）	東京本部	アンテナショッ プ出店販売
スーパー三浦屋 「山陰フェア」	販売	11月12日(火) ～18日(月)	スーパー三浦屋 （杉並区他）	東京本部	県産品の販売

名称	内容	期間	場所	実施主体	事業内容
日本橋三越本店「鳥取松葉がにフェア」	販売	11月13日(水)～17日(日)	日本橋三越本店(中央区)	物産協会、販路拡大・輸出促進課、東京本部	県産品の販売
首都圏量販店商談会 in 鳥取	商談	11月27日(水)、28日(木)	ホテルセントパレス(倉吉市)	東京本部、鳥取県商工会連合会、鳥取県産業振興機構	県内事業者と首都圏量販店とのマッチング
スーパースズキヤ「山陰フェア」	販売	11月27日(水)～29日(金)	スーパースズキヤ(逗子市他)	東京本部	県産品の販売
京橋千疋屋花御所柿販売	販売	11月29日(金)	京王新宿店(新宿区)	販路拡大・輸出促進課、東京本部、JA鳥取いなば	花御所柿の試食会等販促PR
ご馳走えん鳥取フェア	販売	12月5日(木)～18日(水)	ご馳走えん(千代田区)	東京本部	県産品の販売
るるぶキッチン鳥取フェア	料理提供	12月9日(月)～27日(金)	るるぶキッチン赤坂店(港区)他	東京本部	県産食材の料理提供

※ マスコミへのPR、関係者へのチラシ配布、メールマガジン配信、ホームページへの掲載などにより、これらの催しの広報宣伝を行うとともに、催事の企画運営、運営スタッフ派遣などの支援を行った。

(2) マスメディアを活用した情報発信(※アンテナショップ関係を除く)

(令和元年12月31日現在)

区分	件数	放映・掲載時期	番組・媒体名	情報発信の内容
新聞	19	6月中旬～7月上旬	朝日新聞、読売新聞、東京新聞、定年時代、日刊ゲンダイ、東京スポーツ新聞、大阪スポーツ新聞、九州スポーツ新聞、サンケイスポーツ新聞、中日スポーツ新聞、日本海新聞、山陰中央新報	鳥取のすいかマスコミPRキャラバン
		9月上旬～下旬	朝日新聞、読売新聞、日本海新聞、山陰中央新報	鳥取の梨マスコミPRキャラバン
インターネット	6	6月中旬～下旬	A・RING、TOKYO HEADLINE、ESSE online、クロワッサンオンライン、オレンジページネット	鳥取すいかマスコミPRキャラバン
		8月下旬～9月上旬	A・RING	鳥取の梨マスコミPRキャラバン

(3) アンテナショップのPR

ア アンテナショップにおける主なイベント開催

名称	内容	期間	事業内容
リニューアルオープンイベント(人気の老舗銘菓こだわりパンフェア、特別ランチ&カフェメニュー)	販売	4月26日(金)～5月6日(月・祝)	・鳥取・岡山両県知事出席のもと、リニューアルオープンセレモニー等の開催 ・新たに取りとなった老舗銘菓やこだわりの店頭販売 ・「鳥取和牛ビーフストロガノフ」、「鱈井」等の特別メニューを提供
鳥取産新物らっきょう産直市	販売	5月23日(木)～6月10日(月)	北栄町産、福部町産の生らっきょうの新物、らっきょう酢、姫とうがらしの店頭販売
TBS「王様のランチ」収録	イベント	5月27日(月)	TBSの情報番組「王様のランチ」で「とっとり・おかやま新橋館」の紹介番組を収録
テレビ朝日「羽鳥慎一モーニングショー」収録	イベント	6月7日(金)	テレビ朝日のワイドショー「羽鳥慎一モーニングショー」で「鳥取県」の紹介番組を収録
境港産生本まぐろフェア	販売	6月10日(月)～7月5日(金)	境港産生本まぐろを使った「お造り(赤身、中トロ)」、「カルパッチョ」等の提供
鳥取産スイカまつり	販売	6月12日(水)～7月2日(火)	大栄西瓜、倉吉スイカの大玉、カットスイカの店頭販売
鳥取すいか販売PR	PR販売	6月15日(土)	鳥取すいかの試食会等販促PR

名称	内容	期間	事業内容
鳥取すいかフェア	販売	6月25日(火) ～7月5日(金)	鳥取すいかを使った「すいかパフェ」、「すいかのピッツァ」等の期間限定メニューの提供
大栄すいかG I 首都圏知事トップセールス	PR 販売	7月2日(火)	大栄西瓜の試食会等の販促PR
鳥取県×岡山県の「陶器市」&倉敷・児島「豊縁雑貨フェア」	販売	8月8日(木) ～24日(土)	鳥取県と岡山県の素敵な陶器を集めて店頭販売
鳥取県産二十世紀梨フェアと鳥取梨味くらべ	販売	8月25日(日) ～9月9日(月)	二十世紀梨、二十世紀梨のお菓子やジュース、旬の新甘泉梨の店頭販売
二十世紀梨と新甘泉フェア	販売	8月25日(日) ～9月11日(水)	「青梨と赤梨の食べ比べセット」、「梨のサラダ」等、期間限定メニューの提供
旬の梨の試食宣伝	PR 販売	8月30日(金)	鳥取県特産の二十世紀梨と新甘泉梨の試食
鳥取・岡山両県PRイベント	イベント	9月6日(金)、 7日(土)	鳥取・岡山両県を巡る観光ルートを紹介、旬の果物の試食
とっとり・おかやま新橋館5周年記念イベント	販売	9月12日(木) ～11月4日(月・祝)	・鳥取・岡山両県知事による特産品PR ・期間限定でワンコイン(500円)等で特別販売 ・「梨とぶどうのパフェ」、「両県和牛の食べ比べ」等の特別メニューを提供
鳥取県「星空舞」ランチセミナー	イベント	9月24日(火)	情報誌ESSEの取材と合わせて、「星空舞」と鳥取の食材を使ったお弁当作り、試食
輝太郎柿の料理教室	イベント	9月29日(日)	柿と相性の良いサラダと和え物の作り方とコツを学べる料理教室を実施
輝太郎柿フェア	販売	10月4日(金) ～16日(水)	輝太郎柿を使った「輝太郎パフェ」、「輝太郎パンケーキ」等の期間限定メニューの提供
とっとり・おかやま新橋館来館者250万人突破記念セレモニー	イベント	10月10日(木)	250万人目のお客様に鳥取・岡山両県の特産品をプレゼント、両県の特産品が当たる抽選会の実施
倉吉農業高校販売実習	販売 実習	10月11日(金)	実習で育てた家畜や野菜を加工した食品(イノシシカレー等)を販売
外国人向けPRイベント	イベント	10月13日(日)	外国人を対象とした鳥取神楽体験イベントの実施
韓国江原道物産展	イベント	11月4日(月・祝) ～7日(木)	鳥取県－江原道友好提携25周年を記念して、江原道の特産品販売、鳥取県と江原道の特産品を活用したコラボ料理の試食等を実施
紅ずわい蟹&岡山パクチャーフェア	販売	11月5日(火) ～12月1日(日)	ベニズワイガニを使った「かに味噌グラタン」、岡山マイルドパクチャーを使った「パクチャー塩レモンサラダ」等の期間限定メニューの提供
鳥取・岡山「きぬむすめ」フェア	PR 販売	11月20日(水)	食味ランキングで「特A」に選ばれた鳥取・岡山の「きぬむすめ」の試食販売
鳥取県のキャラクターグッズとキャラクターお菓子フェア	販売	11月21日(木) ～12月4日(水)	ゲゲゲの鬼太郎、名探偵コナン、トリピー、白バラグッズやお菓子の店頭販売
星空舞&鳥取野菜フェア	販売	12月2日(月) ～20日(金)	「星空舞」、「大山ブロッコリー」、「ねばりっこ」等を食材とした期間限定メニューの提供
倉吉農業高校販売実習	販売 実習	12月6日(金)	実習で育てた家畜や野菜を加工した食品(らっきょう漬け、ベーコン等)を販売
鳥取県湯梨浜町キャンペーン	PR 販売	12月11日(水)	湯梨浜町の特産品の東郷湖産シジミの試食販売、野花梅を使った「げんき梅」商品の販売
備前焼ぐい呑みフェア&鳥取県×岡山県純米酒・吟醸酒・カップ酒フェア	販売	12月20日(金) ～30日(月)	鳥取・岡山両県の地酒と備前焼を取り揃え店頭販売
鳥取地どりピヨフェア	販売	12月21日(土) ～30日(月)	鳥取県のオリジナル品種(ブランド地鶏)「鳥取地どりピヨ」を使った期間限定メニューの提供

名称	内容	期間	事業内容
鳥取県オリジナル品種「鳥取地どりピヨ」、かにみそバーニャカウダのクリスマス向け試食宣伝	PR販売	12月23日(月)	クリスマスシーズンにぴったりの旨み成分(アラキドン酸)を多く含む「鳥取地どりピヨ」の鶏肉とかにみそバーニャカウダの試食宣伝
とっとり松葉がに世界一記念キャンペーン	イベント	12月24日(火)、25日(水)	鳥取の松葉がにが「セリで落とされた最も高価なカニ」としてギネス世界記録に認定されたことを記念して、知事のトップセールス、鳥取県へのペア宿泊券等が当たる抽選会等を実施

※ この他、各種物産展等において、アンテナショップの広報宣伝を行った。

イ 媒体掲載

区分	件数	媒体
テレビ ラジオ	20	フジテレビ「めざましどようび」、TBS「王様のブランチ」、日本テレビ「バゲット」、NHK「おはよう日本」、テレビ朝日「グッド!モーニング」、テレビ東京「朝の!さんぽ道」、日本海テレビ「news every 日本海」、山陰中央テレビ「TSK Live News it!」、BSS山陰放送「テレポート山陰」、TSCテレビせとうち「東京ホテイソンと巡る!とっとり・おかやま新橋館5周年」TOKYO FM「LOVE&HOPE～ヒューマン・ケア・プロジェクト」等
新聞、雑誌 等	78	東京新聞(夕刊)、産経新聞(朝刊)、日刊スポーツ、サンケイスポーツ、日本海新聞、山陰中央新報、山陽新聞、メトロガイド、ESSE、銀座ネットタイムズ、nagomi JA岡山西フリーペーパー、リビング山の手、Pococe、月刊J2TOP、Ozmagazine、女性セブン、旅行読売、日刊ゲンダイ、いなか暮らしの本、サンデー毎日、人気アンテナショップ料理長のとっておき初公開レシピ等
インターネット メディア	23	ESSE online、じゃらんニュース、Cityliving、愛知ディスプレイ製作所、OZmall、Domani、スポーツ報知、日刊スポーツ、サンスポ、TOKYO HEADLINE、東スポ、Ameba TIMES、JIJIPRESS、MAiDiGiTV、共同通信、メトロ広告社等

※ この他、県物産、観光等に関する各種雑誌取材等において、アンテナショップの広報宣伝を行った。

2.2 観光宣伝の状況

(1) 首都圏でのPR実績(51件)

4月	武蔵野桜まつり、春の日本橋まつり、琴浦会東日本地区交流会、日本旅行記者クラブ春季情報交換会、歓迎案内所ウェルカニ開設式
5月	レジャー記者クラブ情報交換会、大橋小学校での梨交流、紫友会東京支部総会、境港会
6月	中国ブロック観光情報交換会、角盤会、米子高専首都圏同窓会、ふる里鷺が峰会
7月	東京東雲会、東京かしのは会、三井住友海上火災保険(株)での鳥取県物産展
8月	東因会、「お台場プラージュ」での鳥取県・北栄町PR、「MATSURI JAPAN」(八芳園)での郷土芸能の披露
9月	三井住友銀行での鳥取県物産展、東京海上日動火災保険(株)での鳥取県物産展、鳥取大山フェア(横浜高島屋)でのウェルカニキャンペーンPR、鳥取県ゆかりメディア懇談会、東京いもた会、関東なんぶ会、大橋小学校での梨交流、星空舞ランチタイムセミナー、東京シティアイ(KITTE)での鳥取県PRイベント
10月	「全国連携マルシェ in 芝浦」への出店、松戸まつり2019、外国人向け伝統芸能等PRイベント、東京鳥取県人会総会・懇親の集い、星空舞メディア発表会、中国ブロック観光情報交換会、関東米工会、鳥城会、秋の京橋日本橋まつり
11月	むさしの青空市、明治大学連携講座、楽天本社での鳥取県物産展、柏朋会、東京米城会、東京水陵会、東京鴨水同窓会、東京若葉会、八頭高関東同窓会
12月	るるぶキッチンAKASAKAでの鳥取県フェア、大橋小学校での梨交流、東京溝口会、「競りで落札された最も高額な蟹」ギネス世界記録登録メディア発表会、とっとり松葉がに世界一キャンペーンプレゼント抽選会

(2) マスメディアを活用した情報発信

(令和元年12月31日現在)

区分	件数	媒体
テレビ	14	テレビ朝日、フジテレビ、日本テレビ、TBSなどで蟹取県等の取り組みや鳥取県の観光や旬の情報が放送された。 また、東京MXテレビや千葉テレビのニュースや情報番組などで旬の観光情報（歓迎案内所、蟹取県、星空舞等）が放送された。
新聞・雑誌等	59	旅行読売、旅の手帖、Discover Japan、ひととき、天然生活、旬刊旅行新聞などで三朝温泉、大山等の観光情報や県産品情報、蟹取県等の取り組みが掲載された。
インターネットメディア	—	TokyoWeekender WEB版、読売新聞Web「OTEKOMACHI」、旅行読売Web、クロワッサンオンライン、天然生活Web、デイリースポーツなどでイベントの様相や旬の観光情報が配信された。

(3) 旅行会社への情報提供

通年	観光プロモーターを通じてJTB、近畿日本ツーリスト、ANAセールス、日本旅行、クラブツーリズム、三越トラベルなどの旅行社に旬の観光情報を提供した。
6月	中国ブロック観光情報交換会（33名）で蟹取県等を紹介した。
10月	中国ブロック観光情報交換会（36名）で三朝温泉等を紹介した。

(4) 観光相談と紹介等

東京本部及びとっとり・おかもやま新橋館への来所相談 4月～12月（累計）：876件

【相談事例】

- ・鳥取で蟹を食べたいが時期はいつ頃が良いか。飲食店や宿泊についても知りたい。
- ・夏に浦富等に旅行予定だが、海でのアクティビティを知りたい。
- ・往復でそれぞれ鳥取砂丘コナン空港、米子鬼太郎空港を利用して鳥取県内を回りたい。お薦めの観光地と食について情報を教えてほしい。

2.3 移住定住・就業支援の状況

(1) 移住定住・就業支援に係る取組（大学との連携に係るものを除く）

（令和元年12月31日現在）

名称	期日	場所	相談者	
インターンシップ個別相談会in東京	6月7日(金)	とっとり・おかやま新橋館	7人	
鳥取県・岡山県連携「移住休日相談会」（両県、ふるさと鳥取県定住機構）(※)	6月29日(土)	とっとり・おかやま新橋館	3組	
地方のビジネスチャンス発掘セミナー（鳥取県地域活性化雇用創造プロジェクト推進協議会）	7月12日(金)	高田馬場OCビル	22人	
住む×働く×鳥取県移住フェア（ふるさと鳥取県定住機構）(※)	7月14日(日)	東京交通会館	就職15組 移住5組	
地域の魅力発見フェアin東京（(株)グリットグループホールディングス）	8月24日(土)	六本木ヒルズハリウッドプラザ	50組	
ふるさと回帰フェア（ふるさと回帰支援センター）	9月7日(土)	東京交通会館	就職7組 移住8組	
地方のビジネスチャンス発掘セミナー（鳥取県地域活性化雇用創造プロジェクト推進協議会）	10月11日(金)	高田馬場OCビル	20人	
ディスカバーフォーラム（(株)サイシード）	10月20日(日)	エビススバルビル	8人	
鳥取県学生寮清和寮・就活セミナー（東京本部）	10月27日(日)	清和寮	34人	
中央大学保護者会	11月2日(土)	中央大学多摩キャンパス	13組	
インターンシップ個別相談会in東京	11月8日(金)	とっとり・おかやま新橋館	7人	
鳥取県・岡山県連携「移住休日相談会」（両県、ふるさと鳥取県定住機構）(※)	11月9日(土)	とっとり・おかやま新橋館	4組	
鳥取県学生寮明倫館・就活セミナー（東京本部）	11月16日(土)	明倫館	49人	
とっとりWorkWork（ワクワク）飛行機ツアー（東京本部）	12月25日(水)、 26日(木)	鳥取県内	14人	
大手転職サイト主催イベントの活用	マイナビ転職 E X P O	9月1日(日)	ベルサール渋谷ガーデン	73人
移住休日相談会	4月21日(日)、5月18日(土)、7月14日(日)、 8月31日(土)、9月28日(土)、10月26日(土)、 12月8日(日)	とっとり・おかやま新橋館 東京交通会館	12月末 105人	
平日ナイター相談会	6月6日(木)、7月18日(木)、8月1日(木)、 9月12日(木)、10月10日(木)、 11月21日(木)、12月19日(木)	とっとり・おかやま新橋館	12月末 30組	

(※)は、毎月の移住休日相談会を兼ねて実施したイベント。

(2) 首都圏の大学等との連携

ア 大学でのU I ターン就職相談会 7大学（12回）、13人

- ・早稲田大学 1人 (5/16)
- ・専修大学 5人 (6/6、10/24、11/3、12/6)
- ・神奈川大学 1人 (6/18、11/12)
- ・中央大学 4人 (6/20、11/7)
- ・日本大学 1人 (6/22)
- ・高崎経済大学 1人 (11/13)
- ・拓殖大学 0人 (11/15)

イ その他の主催事業等

- ・首都圏学生交流会 20名 (10/5)
- ・早稲田大学稲門会（学生県人会）との連携により早稲田大学稲門祭（10/20）で鳥取県ブースを出展して魅力を発信。鳥取県出身学生自身も、PR活動を通じて県の魅力を再認識。

2.4 県外本部・代表部庁舎に入居している団体等の調べ

(令和元年12月31日現在)

団体名	職員数 (人)	当初入居 の年月日	面積 (㎡)	職員1人 当たりの 面積 (㎡)	使用料 貸付料 (年額) (円)	減免 率 (%)	共益費等 の 負担方法	備考
(公財) 鳥取県 産業振興機構	1	H13.4.1	3.3	3.3	170,922	0	職員数で 案分	
(公社) 鳥取県 観光連盟	1	H19.4.1	3.3	3.3	170,922	0	職員数で 案分	
(一財) 鳥取開 発公社	1	H24.12.1	3.3	3.3	170,922	0	職員数で 案分	
国立大学法人鳥 取大学	1	H26.4.1	3.3	3.3	170,922	0	職員数で 案分	
(一社) 鳥取県 物産協会	1	H26.4.1	3.3	3.3	170,922	0	職員数で 案分	

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等 該当なし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

<ul style="list-style-type: none"> ・作成基準日が一部調書分しか示されていないので、全般的に示してほしい。 ・県外本部は借受不動産を他団体へ転貸しているが、「13 財産の貸付け及び使用許可調べ」(1)イと「23 県外本部・代表部庁舎に入居している団体等の調べ」で内容が重複している部分が多いため、様式の改正について検討をお願いしたい。
--